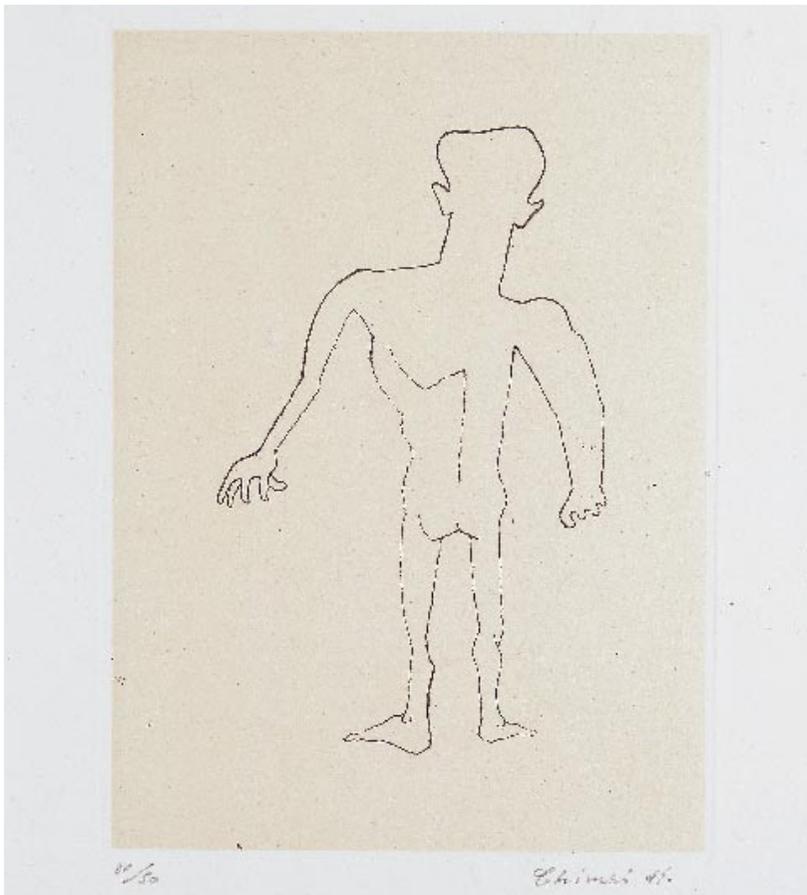


大 南

熊本学園大学 図書館報
第33号 (2003.12)



目 次

座談会：「学生が主役の図書館」とは 1～6

staff column 9

図書館システム移行へ 7

インフォメーション 9～10

news news 8

図書館日誌 10～11

座 談 会

学生が主役の図書館とは

大学の図書館は講義やゼミナールで扱うテーマ、また研究者の研究活動を日々サポートする施設です。では「学生が主役の図書館」はどうあればいいのでしょうか。学生のみなさんに語っていただきました。

市来： いま、本学では「学生が主役の大学」をテーマに掲げ、学長を先頭に取り組んでおりますが、図書館ではその一環として、学生のみなさんが利用しやすい図書館にしようというんな基盤づくりをしています。例えば、みなさんの要望が非常に高いグループ学習室が足りなくて、1階と3階の喫煙室をグループ学習室に変えました。また、パソコンは今年度中にはあと13台追加することになっています。それから、貸出期間の延長も前期に約1か月、後期に約1か月半、試験的に2週間貸出をやっているところです。その他、意見を聞くために投書箱が設置してあります。喫煙室のグループ学習室への転用も、この投書箱がきっかけとなりました。

きょうはみなさんにとって使いやすい図書館について、直接、意見を聞きたいということで集まっていたいたわけです。では自己紹介を兼ねて、どのように利用しているか、宮崎くんからお願いしましょうか。

スタディールームがお気に入り

宮崎： 商学部の4年生です。私は昼休みに読書したり、テスト前の勉強、ゼミの勉強会、あとは待ち時間に使うこともあります。

市来： どういうものを読みますか。

宮崎： 経営の専門書や郷土の本など…。

市来： 経営学の本で時間をつぶすときにゆっくりできますか？

宮崎： 時間の過ぎるのが早いですね。

市来： それでは、次のかたに。

延末： 社会福祉学部の延末です。私はテスト前の勉強、ゼミのグループ学習のとき、あとは、授業で示された本を探したり、コピーなどに利用しますが、授業の空き時間に「プロジェクトX」とか、「映像の20世紀」なん

市来 努
(いちき つとむ)
図書館長
経済学部教授
専攻：教育方法論

「若いときは是非、名著を読んでほしい。」



かを見たりとか…。

市来： では、つぎに関本さん。

関本： 経済学部国際経済学科の関本です。語学、特に韓国語、英語に興味があるので、週2回は来ていると思います。そのうち1回は語学関係のテープを借ります。英語はTOEIC対策、韓国語は今度、日韓交流にも参加するので、独学でやり始めました。さきほど、2週間貸出のお話がありました。語学関係は1週間では読めない、できれば2週間貸してもらえるといいですね。あとは、卒論で日本と韓国の貿易について書くので、その関係でも頻繁に利用しています。

東： 外国語学部の東です。私は授業の勉強でスタディールームやグループ学習室をよく使います。あとはパソコンでのレポート作成、インターネット検索、たまには本も読みます。

辞書をよく使うんですが、図書館の辞書は索引のページが破られていたり、切り取られていたり、書き込みがあったりするんです。マーカーでしるしが入っていると、裏のページまで読み辛くて困ります。

市来： 図書館のどんな施設が利用価値がありますか。

東： 私は、話しながら勉強できるスタディールームがとても気に入っています。グループ学習室はちょっと広すぎて、2人とか、3人のときはスペースがもったいないなって。

市来： 今度、1階と3階の喫煙室をグルー

ブ学習室にしたので、そこはどうですか。

東： 煙草のにおいが染み付いているようで、私はどうも...

市来： 防臭工事で、かなりよくなったと思ったのですが、このあとも継続してやる必要がありそうですね。

東： 私は東アジア学科で中国語を学んでいるんですが、訳に詰まったりすると他の人の意見を聞きたいし、ゼミの予習のときは複数で話しあいながらやりますので、話せる場所だととても助かります。テスト前は人が多くて、図書館でなくて教室でやったりしますが。

市来： 入館統計によると、試験時は1日で3000人、平日は1500人くらいですから、うるさいと感じることもあるでしょうね。

宮崎： 閲覧フロアでやっているのと、スタディールームやグループ学習室で話しているのがすぐ聞こえてきます。

市来： 話し声が漏れてきたりしますか。

宮崎： しますね。

市来： 討論で熱中すると声が大きくなったり、冗談を言って大きな声で笑ったりなどあるでしょうね。

宮崎： 逆の立場だったら、ぼくもやりそうなんですけどね。討論するときも、自分のペースにもっていくのに、まず笑わせたりとかやりますから。個室は閉じ込められた感じで、人によって好き嫌いがあると思いますが、そのあたりはどうなのでしょう。

利用は譲り合いの気持ちで

市来： ひとりひとりにとって満足な環境というのは違うでしょうね。あの狭いところに入ったほうが落ち着くという人もおれば、反対に圧迫されるという人もあるだろうし。

宮崎君のように、不満がありながらもみんな

宮崎 俊明
(みやざき としあき)
商学部第一部
商学科4年

「本を眺めているだけで時間が過ぎます。」



なので勉強するときはあんなふうになるんだろうなあという受け止め方をしてくれる、学習室でやってる人たちも、声は完全にはシャットアウトされていないということを考えておく、お互いに譲り合えるところは譲り合うという気持ちでいられるといいでしょうけどね。

関本： 私は勉強するときは個室ですね。資料のことで、自分ではテキストや辞書などいろいろ購入しないといけなくて、『地球の歩き方』などのガイドブックは図書館で徐々にでも新しいのに入れ替えてもらえたらなあと思います。所属の国際経済学科のプログラムで、1か月ほど中国とニュージーランドに行ったんですが、そういう短期的に行く人が頼るのは図書館だと思うんです。特に今年は初めて提携先にニュージーランドが加わったんですが、国際交流室も図書館の資料も適当なのがなくて、インターネットで調べたりしました。着るものとか、日常的なことでも不安なことが多くて、調べないといけなことがたくさんあります。ニュージーランドが提携先として続くのであれば、後輩のためにも新しい資料を揃えていただくと助かると思います。それだけでなく、提携している大学がある国や州の特集なんかもやってもらえたら簡単に資料集めができますよね。

延末： 私もよくスタディールームを使いますが、他のグループの話し声が聞こえてきたり、授業とまったく関係ない話しをしていたりし

LIBRARY DATA

開館状況 (他館比較)

	本学	熊本大学	熊本県立大学	熊本県立図書館	熊本市立図書館
閉館時刻 ()は土曜日	23:00 (23:00)	21:00 (16:00)	21:00 (16:00)	19:00 (17:00)	19:00 (17:00)
開館日数	324	336	289	282	282
年間受入冊数	23,353	11,038	13,891	19,712	56,312

『日本の図書館 2002』による。ただし、県立、市立図書館の開館日数はホームページ利用案内より算出。

関本 彰子
(せきもと しょうこ)
経済学部
国際経済学科3年
「学生に何が必
要かを先生と話し
合っ。」



て、気が散ることがよくあります。

介護保険制度の一部変更など、福祉を取り巻く環境が大きく変わっているんですが、関係の資料がないときがあるので、最新の資料を複数冊入れていただけたらと思います。

市来：新しく出来た法律など最新の情報は、関係の省庁が何らかの形で公表していることが多いですから、冊子体として出版されるのを待つよりも、2階のレファレンスカウンターに相談するのがいいでしょうね。

それでは、次に図書館の使い心地についてお聞きしましょうか。

広くて使いやすい本学図書館

関本：私はここの図書館がいちばん使いやすいと思います。市立図書館などにも行きますが、例えば経済学など本の数もまったく違うし、子どもの来館者があるのでうるさくて、勉強したい人には不向きかもしれません。

宮崎：自分もここの図書館は好きです。広々としているし、本の種類もたくさんあるし、選ぶのが楽しいですね。本を眺めているだけでも、あっという間に時間が過ぎるし。

延末：市立図書館も県立図書館も机はあるのですが、空いていないことも多いし、集中できないですね。その点、うちの図書館は本の数も多いし、ひとり用のデスクというのはとてもいいと思います。

東：私の場合はうちの図書館は勉強するところで、本を読むのは町の図書館です。

付属高校の卒業生に田中芳樹という作家がいるのですが、大学入学のとき、その人の本が揃えてあるかなと少し期待してきたのですが、案外少なくて、私の好きな歴史小説も町の図書館のほうが多いかな。

市来：大学の図書館と県や市などの公共図

書館では収書の方針は違うでしょうね。小説の類は大学はたしかに少ないかもしれませんが。大学生が教養として読んでほしいものを中心に選んでありますが、全集ものの文学作品など1階の9類の棚には随分揃っているのではありませんか。大学図書館というのは、次々に新刊が出るのを揃えていく、そういう性格のものではありませんから、東さんのように使い分けるのがいいかもしれませんね。ぼくも自宅近所の公民館の図書室を使うことがありますよ。どういう作家がいいですか。

東：宮城谷昌光とか、陳舜臣とか。歴史や文化の生成や発展は歴史小説がいちばん入りやすく、読んだ小説について、うちの図書館の資料で、ここが事実と違うのかと調べるのは面白いですね。

市来：歴史小説は、事実と事実の間を空想でつなぎ合わせているところがたくさんありますが、作家は歴史など丹念に調べてますよね。吉村昭の『間宮林蔵』という小説がありますが、私の大好きな歴史小説ですよ。でもこういうものだけを入れると何年かで図書館は満杯になってしまいますね。

骨休めに小説などをリラックスして読むというのは大切なことですね。名著とよばれるのは、けっこう厚くて、こういうのは、歳をとると根気が続かなかったり、登場人物の名前も忘れてしまったりして、若いときじゃないと読めないですから是非読んで欲しいのですが、そういうのはあまり読みませんか？

東：全集は重いし、埃とかにおいがあってあんまり…。新書版でもとても古くなっているのは新しくして欲しいですね。

延末：高校のときはよく読みましたが、時間の余裕がないのと授業でわからないところを調べたりするのに忙しくて…。小説はここでやめようと思ってやめられなくなりますから。

宮崎：文学関係はまったく読んだことがないんです。あまり興味がないところに、分厚いのを読んだがいいぞって、ドンと出されると拒否反応がでますよね。厚い文学作品を読むくらいだったら、こっちの薄い専門書を2冊読んだがいいと思ってしまって、なかなか読書の幅は広がらないです。

市来： 経済小説とか企業小説というジャンルがあるでしょう。いっぱい騙されたと思って読んでみるのも面白いですよ。

宮崎： 高杉良とか落合信彦とか、父から読むように言われているんですが。

市来： 山崎豊子の『沈まぬ太陽』などは読み出したらやめられないと思いますね。読みやすいし、面白いし、苦痛ではないですよ。企業社会の一員になって生きていくというのはどういうことか、など考えるにはとてもいいですよ。

では、次に図書館に希望することなどがありましたらどうぞ。

東： レポートを作るのに、スタディールームのパソコンを使ったら画面がフリーズして、あと2時間で提出期限というときになってデータが全部消えたことがあるんです。2階のパソコンでも同じようなことがありました。

市来： 基本的には情報機器の操作をいちおうマスターしてから使って欲しいという図書館としての希望はありますが、実際はいろんなケースがあるようですね。

関本： 図書館にパソコンが置かれている役割というのは何なのでしょう。それがよくわからないので、そんなにたくさんパソコンがいるのだらうかと思うときもあります。私は、自宅で入力して情報教育センターでプリントアウトしていたんですが。

市来： 図書館にパソコンは必要ないのではないかということでしょうか。

関本： 必要ないとは思いますが、図書館で言われるような使い方をほんとうにしているのかという疑問はあります。禁止事項でなく、こんなふうに使えますよということをもっとアピールしてもらえると、使う人も増えると思います。

市来： 原則として図書館のパソコンというのは、図書館においてある資料を使ってレポ

東 記久子
(ひがし きくこ)
外国語学部
東アジア学科3年

「あまり使われていない本は禁帯出から外して。」



ートなどを作ることを前提にしてあるのですが、それ以外は絶対いけなくなるとこれまた窮屈になりますからね。

図書館はもっとアピールを

宮崎： アピールするには、ぱっとみて立ち止まるような、ひとつのことだけをいっているのがわかりやすいですね。ひとつのものにたくさん情報が盛り込まれていると、あまり気にとめないと思うんですよ。それを1年間、通して見てもらうとか。

関本： 学生は掲示板で情報収集すると思うので、もっとうまく掲示を使ったほうがいいのではないのでしょうか。

東： 4号館の前に図書館用の掲示板がありますが、正直言って学生はあそこはあまり見てないんじゃないでしょうか。特に隣は就職課の掲示板ですから、3年生や4年生はどうしてもそちらに目がいて、図書館の情報は素通りしてしまいます。教務のところには貼り出されるとよく見ると思います。

関本： 短い期間で掲示内容がいろいろ変わらないと目をひかないですね。

宮崎： 入口に2週間貸出の看板が立ってますよね。あれはよく目につきます。

関本： 利用しない人に向けても仕方ないので、利用する人中心にアピールしてはどうでしょうか。たとえば勉強したいけど勉強できる場所が無いとか、図書館の資料の内容など

LIBRARY DATA

全所蔵冊数に対する各分野の割合 (平成15年11月28日現在)

0類(総記): 6.1%	1類(哲学): 5.1%	2類(歴史): 8.2%
3類(社会科学): 47.9%	4類(自然科学): 4.0%	5類(技術): 2.5%
6類(産業): 5.6%	7類(芸術): 3.5%	8類(言語): 5.4%
9類(文学): 11.6%		

も掲示から口コミで広げていけるし...

市来： 図書館のPR用のツールとしては、館報、ホームページ、「としょかんニュース」、パンフレットなどがありますね。

宮崎： あまり来ない人に足を運ばせようとするのか、それとも、今使っている人達の質を上げていくのか、どちらかだと思うんですね。呼び込もうと思ったら、やはりアピールしないといけないでしょうけど、きつとうるさくなる。そうすると、今度はいつも使っている人たちが使いにくくなって一長一短ですよ。

関本： 大学の図書館は私たち学生が勉強しやすいようにあるのであって、学生が何かしたいときに図書館に行けばいいんだと思うようにするのが役割だと思うんですけど。

新しい本が出たときに、ゼミや授業の先生がこういう本が出たから読んでみたらと紹介してくれるだけでも違うと思います。ゼミの先生は尊敬しているし、先生の勧めであれば読んでみようかなと思うし、言われるとすんなり入ってきます。本だけでなく情報提供も学生はきっと喜ぶと思うんですね。日韓交流プログラムはゼミの先生からプリントをもらって初めて知ることができたし...

延末： ぼくたちのゼミの先生もよく本を紹介してくれます。

将来を考えるサポートを

市来： こうしたら図書館のサービスが向上する、このようにしてもらってもっと使いやすくなるなど、何でもいいですからひとつずつ。

関本： パソコンなど、就職のためにも新しいことは自分で勉強しなきゃいけないと思うんですね。そういう学生のことを思って本を揃えているということですか。

市来： 大学生の学習に欠かせないものとして揃えておく必要があるもの、あとはやはり就職対策などですが、パソコン関係の本は、1階フロアの中央にいちばん新しいものを揃えておいてあります。

宮崎： 専門の分野でも職業の範囲は広いですよ。それにほとんど3年になってからし

延末 一洋
(のぶすえ かずひろ)
社会福祉学部第一部
社会福祉学科3年
「ひとり用のデスク
はとてもいい。」



か就職のことを考えないから、そういう関係の本が並べてあって1年のときから目にはいるだけでもいいかなあとと思います。

関本： 将来の方向を決めて一生懸命やっている学生もいれば、なかなか決まらずにふらふらしている人も多いから、そういった学生を助ける本なんかもすぐ手に届くところに置いてあるといいなと思います。

市来： 1階フロアの中央にある就職関係の特設コーナーに、働く意味とか意義、就職とは何かについて書かれた本は少しはありますが、マニュアル的でないものをまとめた量で、というのは難しいかもしれませんが。漠然とした言い方になりますが、例えば岩波新書の人文・社会科学の分野を広く読むことでしか、掴みとれないかもしれませんがね。

関本： 迷っている人は、キーワードを何にするかもわからないことが多いのですが。

市来： そんなときはカウンターの人に相談してください。探している本の内容を聞いていくつか検索のキーワードを入れてお手伝いすることはできると思いますから。

宮崎： ということは、学生には質問することを徹底しておかないと、自分で探してわからないと、聞かずにそのまま終わっていることがあると思うんですね。

市来： 宮崎くんが最初に言っていたような、特にどれということなく眺めてみて面白そうだというような探し方をしてくれていると、ピタッと合うものがあるかもしれませんね。

延末： ぼくの学部は社会福祉関係に職を探している人が多いんですが、就職関係の本の横にボランティア関係の掲示などをしていただくといいのですが。

市来： ボランティア関係の掲示というと...?

延末： 教職実習課の横にボランティア募集

の掲示が貼ってありますよね。ああいう類のものが貼ってあるといいかなと。

市来：福祉で学んだ分野で職を見つけるときの情報も併せて提供してほしいということですね。これは図書館では直接的に関わる場所ではないでしょうね。責任をもって、ということになると、やはり専門の教職実習課、または就職課あたりになるんでしょうね。

最後になりましたが、図書館ですべきだというようなことについて何かありましたら。

東：3つあります。入学するときに買った辞書で、すでに2版が出ていて授業のときに新しい版で説明されたりすることもあるので新しい版を入れてほしいです。それから、ゼミなどで使うときに禁帯出の本を1日だけでもいいから貸出してほしい。コピーでは膨大な量になってしまうので。

市来：2階の参考図書は最新のものを置いてあって、ある項目だけを調べればそれで済む、多くの人が使う頻度が高いものが置いてあるはずですから、貸し出すとどうでしょうね。

東：でも、私たちのゼミの人しか使わないような、ゼミのそのときだけしか必要としないようなものなんですよ。

宮崎：1冊を許可したら、他のものも、ということになるんじゃないんですか。

関本：ゼミの先生でもだめなんですか。

市来：そうですね。ぼくらもできませんから。でも、要望としてはあるということですね。

東：めったに使わないような本は禁帯出から外して欲しい。私がよく使う『中国文化大革命事典』などはだれも使っていないと思うので、1階におろして欲しいです。

もうひとつは就職関係ですが、最新版はすぐみんなが借りてしまうので、所蔵してあ

たとしても目にする機会がほとんどないんです。だから複本で入れて欲しいですね。それから自己分析、自己開発などは2年生くらいから読みはじめることができれば、就職にむけて考えが変わっていくと思うので、そういう本が多く置いてあったらいいと思います。

図書館に行けば大丈夫と言われるように

関本：私は図書館の方が学生の声を聞いて、学生のためになることをしてもらえたらそれで十分です。学部に必要な先生方とよく話しあってもらえたら、私たちの声も届くと思うんですよ。図書館にいけば大丈夫と言われるようなそんな図書館を望みます。

東：就職の本はSPI、一般常識など問題集形式が多いですね。2週間貸出はいいと思いますが、就職関係のものを2週間もひとりの人が独占しているのはどうでしょう…。

宮崎：SPIや一般常識の本は貸すための本ではなくて、動機付けのための本ですよ。意識をもってもらって、あとは自分で買ってやるようにというのが意図されているんじゃないかと自分では思っていました。

市来：以前は就職課においてあるのがメインだったのですが、やはり図書館にも置いてあった方がいいだろうということで、職業案内や資格試験など就職関連の本を集中しておくようになりました。ただ、就職関連の資料は毎年、大量に出されるし、あのコーナーだけで全学生の就職に関する需要に応えるには無理がありますので、学内の他の部署や施設うまく利用してください。

きょうは貴重な意見をありがとうございました。卒業後も使えますから、このあとも大いに図書館を活用してください。

LIBRARY DATA

主要施設状況

< 1F >		< 2F >		< 3F >	
スタイルーム	58席	グループ学習室	2室	閲覧707	200席
グループ学習室	1室	点字室	1室	グループ学習室	3室
閲覧707	202席	研究個室	5室	研究個室	10室
検索用端末	12台	閲覧707	234席	検索用端末	2台
検索用プリンタ	2台	検索用・CD-ROM用端末	9台	検索用プリンタ	1台
インターネット用端末	8台	検索・CD-ROM・ワード・エクセル用プリンタ	3台		
新聞記事検索専用端末	1台	インターネット用端末	2台		
ワード・エクセル用パソコン	8台	新聞記事専用検索端末	1台		
ワード・エクセル用プリンタ	1台	ワード・エクセル用パソコン	16台		

図書館システムが来年4月から新しくなります！

平成16年4月1日から図書館システムが新しくなります。

図書館のシステムは昭和63年に初めて導入され、その後2回の機器並びにシステムの更新を経て、今次の移行により4代目のシステムとなります。

現在、全国の大学・研究機関などでは、本の情報（書誌）を国立情報学研究所（NII）から入手し自館のデータベース登録に利用していますが、今回のシステム更新はNIIの仕様変更に伴い、平成17年1月を目処として必ず実施しなければならないもので、本学では平成16年3月を期限として移行作業が進行しています。

なお、システム更新は本学のみならずNIIのデータを利用している全国の大学・研究機関などでも順次、段階的に移行作業が行われています。

来年4月に稼動予定の新システムは、現行の「LICSU/21」からリコー社の「LIMEDIO」（リメディオ）になります。現システムと同じくサーバ・クライアント型システムですが、サーバが現在のWindows NTからUNIX系のSolarisに、クライアントはWindows XPで運用するシステムです。

移行後のシステムでは以下のような新しい機能が提供できる予定です。ただし、以下の5つの機能については、4月以降、準備が整い次第、段階的に実施していくこととなりますのでご了承ください。実施時期については、館報、「としょかんニュース」、ホームページ、館内外の掲示板等によりお知らせします。

5つの新しい機能

1. 検索のWeb化

現行システムでは、図書館内検索端末の検索画面とインターネット（外部）からの検索画面が異なる仕様になっています

が、移行後のシステムでは図書館内、インターネットのいずれも、同一の画面で検索が出来るようになります。

2. 予約依頼機能

読みたい本が貸出中であった場合、検索画面から貸出予約依頼をすることができます。

3. 予算執行状況確認

利用者自身（教員のみ）が予算の残額などを確認できます。

4. 携帯電話からの機能

各社携帯電話から蔵書検索や予約状況などを確認することができます。

5. 電子図書館機能

貴重書などをスキャンし、電子化したものをパソコンの画面で見たりするなどのページイメージ情報機能を充実します。

図書館では新システムへの移行により、利用者サービスの大幅な改善をめざすとともに、15年8月までに増設した10台に加え、さらに利用者用端末の増設、館内のネットワーク整備（無線LAN、研究個室・グループ学習室への有線LAN配備）、Webデータベースなどを、今後も充実させていきたいと考えています。

移行スケジュール（予定）

2003年	12月	データ・システム仕様検討
2004年	2～3月	データ移行・検証作業 試験運用 作業内容により臨時休館をすることがあります。
2004年	3月末	新システム運用開始
2004年	4月	本格稼動 (情報システム係)

news news

図書館実習を受入れ

司書及び司書教諭資格を取得する本学学生の図書館実習を、10月18日から11月8日からの2班に分けて各々1週間、合計34名を受け入れた。

本学では司書及び司書教諭資格取得のための課程が第二部(夜間部)を除く全学科に設けられており、図書館特論(図書館実習・1単位)は司書資格の選択科目になっている。

本学学生は例年、この時期に受け入れているもので、今年ももっとも利用者の多い後期授業期間に、3名から4名程度のグループに分かれ、発注・受入から閲覧業務まで各係で実務を実習した。サービスを提供する側に立った実習生にとって、利用者の目に触れない業務や、地下書庫、目録フロアなどの図書館の様子が新鮮な驚きをもって受け止められたようだ。図書館では、毎週月曜日の午前8時50分から全スタッフによる業務連絡を兼ねた朝礼が行われているが、期間中は実習生も月曜日の朝礼に参加し、図書館業務の一端を早速体験した。

2週間貸出を実施

今年度初の試みとして前期授業期に実施した2週間貸出が、後期も11月30日までの日程で実施された。貸出対象は学内者(学生、教職員)のみ。

従来から、貸出期間は1週間に定められているが、卒論用や多数冊の借用など用途によってはその都度柔軟に対応してきたが、今年度は学生、教職員等の一般的な利用の要望に応えようと試験的に期間延長に踏みきったもの。当初は、延滞が増えるのではないかと一部、懸念する声もあがったが、利用者のあいだでは、落ち着いて読めると好評のようだ。

なお、次年度については、今年度の実施状況をみて、恒常的な2週間貸出を運用できるか、新システム移行問題との関連も含めて早期に実施する方向で、このあと検討に入る予定。

中学生が体験学習

9月9日から11日まで3日間にわたり、熊本市立帯山中学校の生徒10名の「ナイスライ事業(職場体験学習)」を今回初めて受け入れた。

これは、阪神大震災後、兵庫県から始まり、その後全国的に広まっている学習で、熊本市では平成12年度からすべての市立中学校に導入されているもの。2年生を対象学年に、将来の職業生活に備え、望ましい職業観と勤労観の基礎を養うことを目的とした“社会人体験”を、授業の一環として行う。

期間中は男子8名、女子2名の2年生が閲覧業務や目録業務などを中心に体験学習に臨んだ。ふだんは大学生や社会人のカジュアルな服装だけのフロアに、制服着用の中学生在懸命に配架点検する姿が印象的だった。

実習終了後は全員の生徒から自筆イラストのハガキによる礼状が、また、11月17日には生徒代表から「帯山中学校ナイスライ事業活動報告集」が届けられた。

本学を会場に五大学研修

11月21日、本学を会場に九州5大学図書館職員研修会が開かれ、館内関係者も含め約30名が参加した。

これは、会員大学(九州産業大学・久留米大学・福岡大学・西南学院大学・本学)図書館の第一線で働く一般職員を対象に、職員相互の交流および日常業務に関する情報交換を行うことによって、職員の資質の向上と見識を広め、大学図書館間の相互協力を推進させ、担当の業務にフィードバックさせることを目的として、毎年持ち回りでこの時期に開かれているもので、今年で9回目。

従来、承合事項を持ち寄り形式で実施されてきたが、今回は趣向を変え、参加者各人が事前に提出・回覧した課題について準備したものを持ち寄り、各係の現場で実務を交えて情報交換するやり方を採用した。日頃の担当業務が研修のフィールドとあって、活発な意見や情報の交換、質疑応答がなされた。

なお、当日は午後3時から久留米大学、福岡大学、西南学院大学および本学の4館による外国新聞分担保存運営委員会も開かれた。

< staff column >

経理歴24年の目に映るもの

この4月に本館の経理課から図書館に異動して半年が経ちましたが、初めて見聞きすることばかりで、新鮮な驚きを感じています。

まず、床面積が約1万平方メートルという図書館は平面にすると縦横100メートルという広さになります。これを6層の立体構成にして図書館のハードが成り立っています。66万冊の蔵書はこのあとも毎年2万冊が増え続けるだろうし、逐次刊行物やAVコーナーの資料も増え続けます。開館日数は年間325日で、月曜日から土曜日は朝9時から夜11時まで、日曜日は朝10時から午後4時まで利用できます。これを延べ時間に直すと年間4,200時間になります。総勢36名のスタッフに夜間・日曜日の学生アルバイトを加えて運営されています。経理歴24年の目には「この運営コストに対して利活用状況は？」...

近年、私立大学は18歳人口の急減で定員未充足や財務状況悪化が話題になり、雇用形態の多様化、定年年齢の引下げや早期退職制度導入などで収支改善を図っている大手大学の事例が報道されています。大手大学が人件費などのコスト削減に本格的に取り組んでいるなか、とりわけ大学図書館を取り巻く状況は切迫しているように感じま

す。資料費の削減をはじめ業務委託や派遣社員導入などが多く見聞きされるようになりました。

年間4,200時間も開館していますが、第二部学生や大学院生からは午後9時以降の2階・3階の参考図書や雑誌、AVコーナーや地階書庫資料の利用についての要望があります。日曜日については時間延長の要望が続いています。またIT関連では本を読みながらパソコンを使いたい。メールもインターネットも利用したい、電子ジャーナルをもっと利用したいなどのパソコン台数の不足や利用制限に対する緩和の要望があります。

利用者あつての図書館であり、その声をいかに運営に反映させるかは常に課題ではありますが、利用時間延長やIT関連の充実の要望を満たすためにはスタッフを増やし、図書館のインフラを整備する必要があります。費用対効果を考え、しかも要望を満たすにはこれまでの運営方法の見直しは避けられず、大きな発想の転換が必要だと思っています。

“大学こけたら図書館もこけた”にならないようにするためには・・・「うーむ」
(図書館事務次長 緒方良二)

インフォメーション

平成16年度図書館カード(卒業予定者用)発行

平成16年3月卒業予定の方で、16年度の通年利用を希望される場合は、次の要領で図書館カード発行の手続きをお取りください。カードは16年4月以降の郵送となります。

<受付時間> 月曜日～土曜日 9:00～21:00

<受付開始> 卒業判定発表により卒業が確定した日から(16年2月末～)

<申込みに必要なもの> 本人であることを証明するもの(運転免許証・パスポート・保険証など)
詳細は図書館1階メインカウンターにお問い合わせください。

TEL: 096-364-5161(内線1701)

朝日新聞記事検索端末を増設

従来、2階レファレンスカウンター前のみだった朝日新聞記事検索専用端末が、1階メインカウンター前にも設置され、11月から利用できるようになりました。これは、朝日新聞社が発行す

る新聞およびおもな定期刊行物が、1984年発行のものから検索日当日の分まで探せるものです。なお、日本経済新聞、毎日新聞の記事は従来どおりCD-ROM、その他上記新聞をふくめ熊本日日新聞などの地方紙、ブロック紙などは縮刷版またはオンラインデータベースへの接続による検索になります。

図書購入リクエストについて

年間約2万冊を受け入れている本学図書館では、学生用図書は原則として館内の選書委員会により定期的に選書されていますが、この他、利用者からのリクエストも受けつけています。ただし、リクエストできるのは学内者に限られます。

1階中央に設けられたリクエストボックスに投函があった場合は、定例の選書委員会に図られ、重複調査をはじめ大学図書館の蔵書として適当かなどの検討がなされたのち、購入されます。資料によっては、発行年が古かったり特殊な資料であったりするなど、かならずしも希望に添えない場合があります。なお、購入されたリクエスト本は目録登録などの作業終了後、リクエストした人から優先的に貸し出されます。

グループ学習室を増設

今年8月から、1階および3階の喫煙室をグループ学習室に変更しました。

開館当初からグループ学習室は、2階の3室(201・202・203)および3階の2室(301・302)により利用に供してきましたが、201へのパソコンの設置、点字図書室専用としての利用など近年の諸々の事情により、用途の変更、グループ学習専用として使える部屋数が減少するなどを余儀なくされています。

そこで1階と3階の中央階段わきの喫煙室をグループ学習室として利用することになったものです。転用にあたっては、壁面の防臭加工など対策を講じましたが、このあとも継続して利用しやすい環境改善に努めていきます。

図書館日誌

[平成15年4月～12月]

見学者

15.4.22	附属敬愛幼稚園役員	32名
15.4.23	出水中央高校	27名
15.5.8	大津高校	52名
15.5.20	尚綱高校保護者	7名
15.6.11	高森高校	24名
15.6.13	武蔵中学校 PTA	15名
15.6.30	三瀬高校保護者	27名
15.7.1	大津高校保護者	22名
15.7.3	中央高校	11名
15.7.5	オープンキャンパス	340名
15.7.7	南陵高校	33名
15.7.8	翔陽高校	6名
15.7.8	城北高校	56名
15.7.9	南関高校	78名
15.7.9	苓明高校	27名
15.7.11	天草西高校	11名
15.7.14	小国高校	36名

15.7.23	多良木高校	32名
15.7.26	八代南高校	30名
15.7.28	国府高校保護者	30名
15.7.30	八代東高校	34名
15.7.30	氷川高校	7名
15.8.1	西日本短期大学附属高校	29名
15.8.2	水俣高校	69名
15.8.5	荒尾高校	31名
15.8.5	甲佐高校	3名
15.10.9	湧心館高校	84名
15.10.14	東稜高校保護者	45名
15.10.15	必由館高校保護者	46名
15.10.17	川内高校	37名
15.11.14	日田高校保護者	29名

行事

15.4.5	入学式 大学院新入生図書館オリエンテーション
15.4.6	学部新入生図書館オリエンテーション
15.4.22～6.26	学部新入生図書館ガイダンス
15.5.8	熊本県大学図書館協議会総会
15.5.21～10.15	学部生ステップアップガイダンス

- 15.6.15 熊本地区保護者懇談会図書館開放
 15.6.28 インターライブラリー親善スポーツ大会
 (於:熊本県立大学)
 15.7.1 図書館委員会
 15.7.5 オープンキャンパス図書館開放
 15.7.20~7.21 前期定期試験特別開館
 15.7.25~9.24 夏休み特別貸出
 15.9.9~9.11 帯山中学校ナイスライ事業
 (図書館体験学習)受入
 15.9.30 学生懸賞論文募集締切
 15.10.18~10.24 図書館実習(第1班)受入
 15.10.29 図書館委員会
 15.11.8~11.14 図書館実習(第2班)受入
 15.11.19 学生懸賞論文選考委員会
 15.11.21 九州5大学図書館職員研修会
 外国新聞分担保存運営委員会

出張・研修

私立大学図書館協会西地区部会九州地区協議会

4.24/宮崎/市来努・上田信行・津村秀夫
 九州地区大学図書館協議会総会

4.25/宮崎/市来努・上田信行・津村秀夫
 熊本県図書館連絡協議会

5.13/県立図書館/井上実・緒方良二
 マイクロソフト・カンファレンス2003

5.17/福岡/西一幸・斉藤琢磨
 私立大学図書館協会西地区部会総会

5.20/名古屋/井上実・緒方良二
 LIMEDIO セミナー

7.10/大阪/西一幸・斉藤琢磨
 国立情報学研究所 ILL システム講習会

7.16~7.17/東京/上田望
 Microsoft Univ. システム講習会

7.22~7.24 7.28~8.1/東京/斉藤琢磨
 熊本県図書館職員研修会(初級)

7.29/県立図書館/西一幸・矢野裕子・
 河口美紀・求野弥生

稚内北星学園大学サマースクール
 (システム管理コース)

8.2~8.5/稚内/西一幸・斉藤琢磨
 稚内北星学園大学サマースクール
 (ネットワーク管理コース)

8.6~8.10/稚内/斉藤琢磨
 大学図書館問題研究会全国大会

8.23~8.25/奈良/津村秀夫
 Microsoft Univ. システム講習会

8.25~8.29/東京/斉藤琢磨
 文化庁主催図書館等職員著作権実務講習会

8.27~8.29/岡山/島田直子

大学図書館司書主務者研修会
 8.27~8.29/京都/上田信行
 私立大学図書館協会西地区部会九州地区研
 究会

8.29/福岡/加藤妙子・財津雅美・
 宮原由美子

Unix 入門
 9.8~9.10/東京/西一幸・斉藤琢磨

大学図書館研究集会
 9.19/早稲田大学/上妻圭子

私立大学図書館協会西地区部会研究会
 9.19/就実大学/津村秀夫・加藤妙子・

宮原由美子
 Microsoft Univ. システム講習会

9.22~9.26/東京/斉藤琢磨
 熊本県図書館関係職員研修会(中級)

9.25~9.26/熊本県立図書館・熊本大学図
 書館/千代盛虎文・加藤妙子

・橋本かおり
 九州地区著作権セミナー

9.25~9.26/熊本県民交流館パレア/
 緒方良二・財津雅美

Microsoft Univ. システム講習会
 9.30/東京/西一幸・斉藤琢磨

大学図書館等関連事業九州地区説明会
 10.2/九州大学/野嶋美由紀

大学図書館職員講習会
 11.11~11.14/大阪大学/上田信行・

野嶋美由紀
 日本図書館協会全国図書館大会

11.27~11.28/静岡/井上実・緒方良二・
 島田直子

国立情報学研究所公開講演会
 15.12.5/京都/宮原由美子

編集後記

季節はあっという間に、冬。ぽかぽかの陽射しを背に受け本を読む…。ミステリーあり、古今東西の名著あり。そんな空間が図書館にはたくさんあります。あなたも是非、一度「本を読む人」に。

おおくす
大楠

第33号 2003年12月18日

編集・発行 熊本学園大学付属図書館
 〒862 8680 熊本市大江2丁目5番1号
 TEL (096)864 5161 FAX (096)862 5967
<http://www.lib.kumagaku.ac.jp/>

表紙: 浜田知明『小さな版画集』より「背中」,1991